

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 小石 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

○9割以上の児童が、朝食を食べる習慣が身につけている。
本校では、年間学習指導計画の中に、食育に関する学習をどの学年にも位置付けている。外部講師による出前授業とも関連させ、食育を充実させた結果が現れたと考えられる。
○睡眠時間や起床時間が不規則になりがちな児童が多い。
テレビの視聴時間や、スマートフォンの使用時間が長い児童が一定数見受けられる。情報モラル等の学習を行う中でその点を取り上げているが、引き続き継続的な指導が必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○食育に関しては、来年度の年間学習指導計画に適切に位置付け、子どもたちが「早寝・早起き・朝ごはん」の価値について学ぶ機会を十分に設けたい。
○体育科学習では、自分のめあてをもたせ、達成するための活動時間を確保している。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○スポーツ委員会の働きかけを中心に、学期に一度、「スポーツ集会」を実施する。縦割り班ごとに参加できるように計画し、長縄やドッジビーなどのスポーツに楽しんで取り組めるようにする。